

# 教育民生 常任委員会

## 出産育児一時金について

「今まで、病院に出産費を全額支払ってから、申請して支給されるものだったが、これからは直接病院に支払いが可能なるのか。また、高額医療制度も同じように直接、支払いできないか。」との問いに、「希望者は出産予定の1ヶ月前から申請でき、三十五万円を上限に直接医療期間に支払いできる。また高額医療制度の場合は、非常に大きい金額になる事も予想され、出産一時金と違いリスクが高いと考えているが、これから検討したい。」

また、「角館総合病院の出産費の引き上げが八月から行われているが、出産育児一時金の改正と同時期に出来なかったのか。」「今回の改正は、法の改正に合わせたものであ

る。他の自治体病院では、出産費の引き上げは四月からおこなわれていた所もある。料金改正をお願いした時点で、国の動向がハッキリしていなかった。」

## 乳児検診について

「学習障害等を早期に発見するため、五歳児検診を行うことは出来ないのか。」との間に、「保険課担当で行う検診は、三歳児検診までであるが、他の自治体のケースも参考に検討してみたい。」

## 障害者福祉について

「地域生活支援事業にいくつかの事業がまとめられているが、小規模作業所のさくらの会、にじの会等に対し市としてはこれからどのようなかわりを持っていくのか。」との問いに、「小規模作業所については、国体から行いたい事業について、要望が出されている。今までは、補助金として出していたが、新たに生活支援事業の中で行うことになる。また、NPOで実施したいとの要望も出されている。」

## 老人施設関係について

「これから老人が増え、清眺苑を含め施設の老朽化も進んで行く。民間移行等どんな方向で行くのか考えているのか。」との間に、「基本的には市で設置し、運営しているものは現状維持でいきたい。ただ将来的には市で直接管理するのか、指定管理者制度にするのか等、これから部内で検討していきたいが、一定期間は必要と考えている。」

## 神代小学校改築について

「神代小の検討委員会ほどんな内容で行っていくのか。一回目にはどういう意見があったのか。」との間に「早期改築を目指し、来年度基本設計を予定している。委員会では、準備会の段階でまとめた意見としては、体育館も含め出来るだけ早期に改築してもらいたいという要望だった。二十年、二十一年度で建設に取りかかりたい。PTA関係者等も含め建設に反映していきたい。」

## 統合小学校について

「落札業者の中に国交省から指名停止を受けた業者が入

っていたが、最終日の契約議決はそのままですのか。」との間に、「県では違法性があるかどうかの判断をこれから行う予定である。契約議決については、市長が提案するものである。また入札については、入札契約室で行っている。県の判断を待つてそちらで判断するものと考えている。」

## 文化財保護について

「伝建群地内の看板について、強制撤去は難しいだろうが、今後の方針についてはどうか。また玉川堤の桜の管理についてはどうするのか。」との間に「看板の県については、保存計画見直しを委員会です話し合っているが、十九年度に方向性を決めて対応していきたい。しかし今はお願いしかできないので、今後とも関係者に積極的にお願いしたい。玉川堤の桜の件については、危険回避と家屋に迷惑をかけている

桜の木については、除去する場合もある。樹高の高いものは手入れをしやすいくらいの高さにしたいと考えている。」

## 仙北市国民保険特別会計補正予算について

「全県一つで事業を行う場合のメリットはなにか。」との間に「急激に医療費が上がった場合、仙北市単独で支払えない場合が想定されるが不足分は交付金で入ってくるので支払いが可能になる。基金の取り崩しをしなくても安定した運営が出来るメリットがある。」

